

「新たな伝説 ～最強への挑戦～」

今年もまたキャンパスにフレッシュな新入生を迎えた。春の日差しの下、目標に向けて懸命に汗を流すアスリートがいる。城西大学の新しい50年の歴史に踏み出した昨年、目標達成が叶わず悔し涙にくれた部が少なくなかった。しかし、汗と涙が報われる日を信じて、選手たちは前を向いている。「城西大学スポーツ」(Jスポ)とともに、選手たちに大きな声援を送ろう。



「予選会1位通過、箱根駅伝5位」 目標に前進!

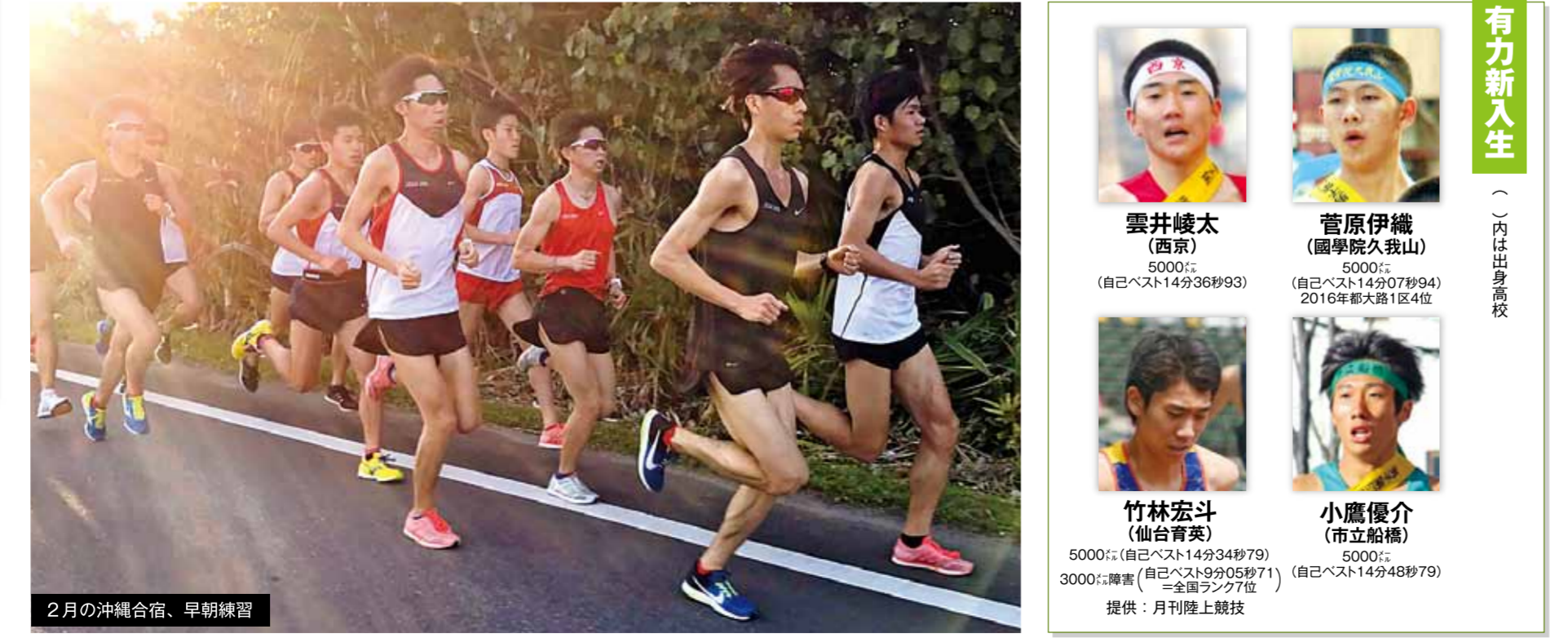
男子駅伝部 城西大新入生最速タイムを持つ菅原が加入

箱根駅伝の連続出場が13回で途切れた男子駅伝部。昨年10月の予選会直後のチームは落胆の色が濃かったが、今はその面影はない。「目標が変わろうとしている姿が見えて、チームの雰囲気が高まっている。新主将の中倉俊也(経営4)は力強く語る。

チームの状態は向上を確信した。選手層に選ばれた金玉元(経営3)が走り、チーム全体の箱根経験者は5人となった。また、新チームに500分以内の7秒出で本学新入生として最速タイムを持つ菅原伊織(国學院久我山)も加入。昨年12月の全国高校駅伝の花の区間で4位と、トラックとロードともに走力のある実力者だ。

新チームは「箱根駅伝予選会1位通過、箱根駅伝5位」を目標に掲げている。チームスローガン「新たな伝説、最強への挑戦」の下、リベンジを期す新入生男子駅伝部その挑戦に注目したい。

【高橋慶美、竹林を除く】
有力新入生の写真も



有力新入生 (内は出身高校)

雲井峻太 (国学院)
5000: (自己ベスト14分36秒93)
2016年都大第1区4位

菅原伊織 (国学院久我山)
5000: (自己ベスト14分07秒94)
2016年都大第1区4位

竹林宏斗 (山形育英)
5000: (自己ベスト14分34秒79)
3000: (自己ベスト9分05秒77)
提供: 月刊陸上競技

小鷹操介 (市立船橋)
5000: (自己ベスト14分48秒87)

ご入学おめでとうございます

白幡 晶 学長

ご入学おめでとうございます。新入生の皆さんは、新たな可能性を開くために、本学に入学されたことだと思います。城西大学は学生たちが、多くの新しいことに挑戦して、これまでにない自分を発見し、可能性を広げる環境をできる限り作りたくと考えています。

大学におけるスポーツには、色々な意味があると思います。競技における勝利の栄光を目指す人には、道を極める厳練の場となり、座学だけの生活に物足りなさを感じる人にとっては、若いエネルギーの発散の場ともなるでしょう。

また、野球や駅伝、陸上競技をはじめとする全国レベルのクラブに所属する身近な仲間たちが、大きな大会やオリンピックで活躍する姿に学生として心躍らせることは、同僚の仲間たちの絆を強くし、連帯意識を大きく広げることにもなると思います。

それぞれのスポーツに対する思いは、まちまちですが、スポーツを通して目標に近づき体験や、仲間の活躍に心躍らせる臨場感、間違いなく学生生活を充実したものにしたいと思います。

学生たちが取材を通してつづり上げている「城西大学 Sports」は、城西大学の素晴らしい方々のヒントを、皆さんに提供することです。

記事を書いてみませんか。初心者でも大丈夫です。新聞記者経験がある職員が取材・書き方を基本から指導します。留学生も「学生記者」として活躍しています。興味がある学生、やる気がある学生、大歓迎です。写真、イラスト、漫画などでも協力してくれる学生もぜひ参加してください。

連絡はこちらまで j-sports@josai.ac.jp

記者募集

「機動力を駆使した攻撃的な野球」で1部復帰へ



投手陣の柱は 右の本格派

小原重親監督が総監督に、代田建紀コーチが監督として昨春のリーグ戦で首位打者に輝いた足達達太郎(現代政策4)が主将という新体制となった硬式野球部。春のリーグ戦での1部復帰を目指す。

現役時代、イースタン、ウエスタン両リーグで攻撃王の経験があり、千葉ロッテ、テマリンスでコーチも務めた代田監督が掲げるのは、「二人ひとり、個の昨は高い。それをしっかり生かせる」と言葉に力をあてた。

「二人ひとり、個の能力は高い」
今年をあえてチームスローガンを作らなかった。

プロフィール
部員数: 93人
部長: 菅野素雄
総監督: 小原重親
監督: 代田建紀
主将: 足達達太郎(現代政策4)
主務: 秋山秀祐(経営3)

試合日程
4~5月 春季リーグ
6月 全日本大学野球選手権大会
9~10月 秋季リーグ
11月 明治神宮記念大会
新人戦

有力新入生 (内は出身高校とポジション)

大橋建斗 (浜松高-投手)

岡嶋 楓 (北郷-捕手)

足達達太郎 (現代政策4)



「一生百錬 ~完全燃焼5400秒~」 2部昇格と天皇杯出場を目指す

サッカー部は昨年連続で埼玉東部リーグで優勝しているものの、あと一歩で関東大学サッカーリーグへの昇格を逃している。新年度は、本サッカー選手権大会出場を目指し、

寮山誠監督は新チームについて「キャンパスの田中大輔(現代政策4)を中心に、活気があり、とにかく明るく」と話しながら、「関東リーグ昇格の決め手として『守備陣のテコ入れとセットプレーを強化する』を挙げた。

田中大輔は、例年に比べて個々の能力が低く、全員で戦うというのを意識して、まとものあるチーム作りができていと思う。歴史に新たな文字を刻めるように一つ

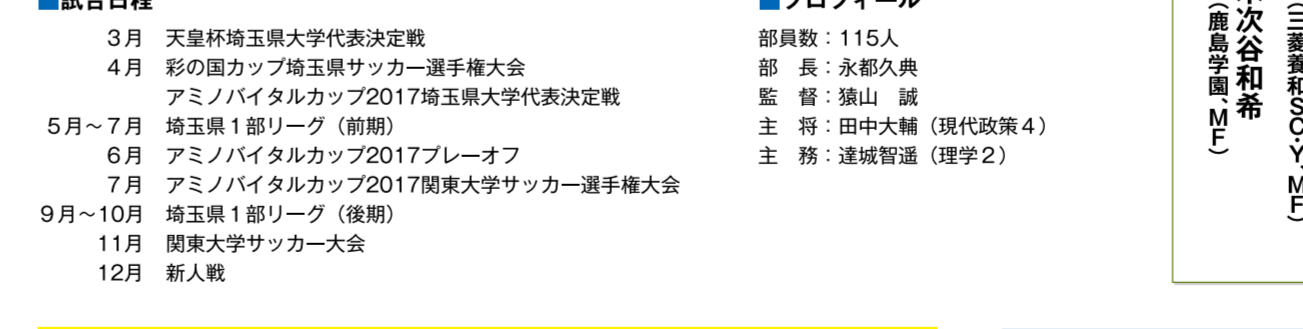
プロフィール
部員数: 115人
部長: 永都久典
監督: 塚山 誠
主将: 田中大輔(現代政策4)
主務: 達城智通(理学2)

試合日程
3月 天皇杯埼玉東部代表決定戦
4月 彩の国カップ埼玉東部サッカー選手権大会
4月 アミノバイタルカップ2017埼玉東部代表決定戦
5月~7月 埼玉東部1部リーグ(前期)
6月 アミノバイタルカップ2017プレーオフ
7月 アミノバイタルカップ2017関東大学サッカー選手権大会
9月~10月 埼玉東部1部リーグ(後期)
11月 関東大学サッカー大会
12月 新人戦

有力新入生 (内は出身高校とポジション)

戸張環太 (三雲和成C.Y.M.C.)
木谷谷和希 (鹿嶋学園M)

主将
田中大輔 (現代政策4)



取材スタッフ

編集長 松岡建史(薬学部5年)
巻頭編集 西村健太郎(薬学部5年) 開井田成美(薬学部5年)
管内編集 渡辺真輝(経営学部4年) 渡辺真輝(経営学部4年) 高橋慶美(経営学部4年)
本間智久(薬学部4年) 本多里菜(薬学部4年) 足田彰彦(経営学部3年)
達城智通(経営学部3年)

アドバイザー
知見寺規(2014年度卒業) 吉田美咲(2015年度卒業) 佐川由紀(2015年度卒業)

Jスポ <http://www.facebook.com/JOSAISPORTS>

関東リーグ 4部全勝で3部昇格を

昨年、関東リーグの5部で全勝優勝を決め、12月の入れ替わり大会で順天堂大学を破り、4部の大逆転。新入生2人を迎えた。新たなシーズン、目標は3部リーグ昇格だ。

新主将の横山心(現代政策4)は「チームの強さを『部員同士の仲の良さ』と言った。いりいり戦を戦って、勝つのがケガだ。練習前後のストレッチなどで体のケアをし、ウエイトトレーニングで筋力をつけること。また、アガを出さないよう1年間しっかりとやっていきたい。そのうえで、チームが良い方向

プロフィール
部員数: 32人
監督: 橋本利之
主将: 横山 心(現代政策4)
主務: 大橋悠己(現代政策3)

試合日程
5~6月 オープン戦
9~11月 関東大学リーグ戦

**スローガンは
VIVA LA REVOLUTION
(革命バンザイ)**

「向かえば」と抱負を語る。ラグビー部は、かつては2部に在籍したこともある。そこを目指し意味でも今年4部リーグ全勝3部昇格が目標だ。昨年、同じスローガン「VIVA LA REVOLUTION(革命バンザイ)」を掲げて戦ってきた。4部リーグ昇格を決めたラグビー部

記者の目

仲間キラキラした表情に出会える

入学当初、業学以外に何かをしたいと悩んでいたときに、担当教官から勧められたのが、「城西大学スポーツ」(Jスポ)だった。文章を読むのが好きな私は、次第にJスポに惹かれ、自分のベースをつかめた2年生から念願のJスポに参加した。

サークルは和気あいあい、皆がスポーツばかりでなく、いろいろな話を知って刺激を受けることも少なくない。集まる頻度は多くはないが、編集会議後の懇親会がとて楽しく、それだけでも良かったと思う。

初めて記事を書いた際は、とても緊張した。一生懸命書いた私の文章が載っている紙面を見たときの感動と達成感はいまでも忘れられない。私の担当は、業学に関係するコラムの執筆だが、実際にスポーツ取材をする仲間たちのキラキラした表情に出会えたのも、Jスポに入ったおかげと思っている。

部活はしなないけれどスポーツに関わりたい、文章を書くのが好き、いろんな人と出会いたい。興味のある方は、ぜひJスポに来てみてください。少しでも興味のある方、ぜひJスポに来てみてください。【本多里菜】

硬式野球部

その理由を代田監督は「今の状態を学生一人ひとりに考えてほしいから」と説明。足達は「7月から出陣」と言う。春に上がらなければ、最後の半年を1部で戦うことができない。4年生たちの目色が変わってきたという。足達は「二人ひとり、個の昨は高い。それをしっかり生かせる」と言葉に力をあてた。

「二人ひとり、個の能力は高い」
今年をあえてチームスローガンを作らなかった。

「一生百錬 ~完全燃焼5400秒~」
2部昇格と天皇杯出場を目指す

ラグビー部

昨年、関東リーグの5部で全勝優勝を決め、12月の入れ替わり大会で順天堂大学を破り、4部の大逆転。新入生2人を迎えた。新たなシーズン、目標は3部リーグ昇格だ。



